



2016・5・11

第 238 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

戦争法廃止へ熱気あふれた憲法記念日行事

東京の集会には4野党党首参加

戦争法施行後初めて迎えられた5月3日の憲法記念日は、東京で総かがり実行委員会を中心とした実行委員会主催の集会に民進・岡田克也、共産・志位和夫、社民・吉田忠智、生活・小沢一郎の4野党党首が顔をそろえ、5万人の熱気につつまれるなど、全国各地でかつてない盛り上がりを見せました。

九条の会はそれらの集会を他団体と共同して成功させたり、あるいは独自に開催し、その成功のため、全力をあげました。

9条の会と若者グループが共同で

【北海道各地】 <旭川市> 「『戦争法』廃止を求める総かがり行動」が行われ、集会に600人、デモに約1000人が参加しました。3つの9条の会と若者グループA. F. M. A. (アフマ)の主催。平和フォーラム、連合旭川、旭川労連などが賛同しました。

A. F. M. A. の榎田晶子さんは「憲法を守ってきた先輩方と私たち若者が力を合わせていけることが本当にうれしい」と述べました。

<士別市> 士別9条の会が集会を開き、

九条の会事務局学習会 戦争法の廃止をめざして —立憲主義の回復か安倍改憲か—

◇日時：5月27日(金) 18時30分～

◇会場：文京区民センター3A会議室

報告1「憲法9条と立憲主義」 山内敏弘・一橋大学名誉教授

報告2「戦争法から明文改憲へ—安倍改憲の狙いと矛盾」 渡辺治・一橋大学名誉教授

◇参加費 一般1,000円 学生500円 高校生無料

*事前申し込みは不要です

高校生ら54人が参加しました。

戦前の弾圧事件「生活凶画事件」の犠牲者の一人、菱谷良一さん(94)が講演。旭川師範学校5年生で美術部員だった菱谷さんは、生活をありのままに描く「生活凶画」が「共産主義の高揚を図る」とされて逮捕・投獄され零下30度の獄中生活などの苦闘を語り、戦争法などに警鐘を鳴らしました。

<ビー・アンビシャス9条の会北海道>

札幌市内で学習会を開き、90人が参加。沖縄医療生協の前理事長で内科医の伊集唯

行氏が講演。米占領下の沖縄の実態、祖国復帰運動、基地撤去の運動などを語り、「これから新しい基地を沖縄県につくらせてはならない」と強調。保守の人たちを含む「オール沖縄」でたたかいを進める決意を述べました。

参院選統一候補もあいさつ

【青森県／県九条の会等】 青森市で県九条の会、共産党、社民党など12団体が共催する「戦争法廃止！憲法改悪反対！青森集会」が開かれ、約370人が参加しました。

県九条の会の金澤茂共同代表をはじめ各団体の代表11人がリレートークし、「憲法改正を狙う安倍自公政権を倒すため、私たちがしっかり腕・肩を組み一つにまとまろう」などと訴えました。

参院青森選挙区で野党統一候補となった田名部匡代氏も駆け付け、「民主主義、平和主義、立憲主義を何が何でも守り抜くと決意表明しました。

【山形県／県民の会】 山形市で「明日を決めるのは私たち 平和といのちと人権を5・3講演会」が開かれ、350人が参加しました。「戦争法廃止を求めるやまがた県民の会（共同代表=小口裕之県平和センター議長、高木紘一県九条連絡会会長）の主催。

高木共同代表があいさつ。直木賞作家の高橋義夫氏と戦場ジャーナリストの志葉玲氏が講演しました。

参院選挙野党統一候補の舟山やすえ氏が立憲主義を取り戻す決意を表明しました。

県内各地の9条が運動を交流

【茨城県／フェスティバル実行委員会】 茨

城県の「憲法フェスティバル～主権者はわたしたちだ！」が水戸市の公園で開かれ、「安倍内閣を退陣させ、憲法を守り、平和な社会の実現をめざして全力でたたかう」としたアピールを満場の拍手で採択しました。

会場内の各テント内では県内各地の「9条の会」が運動の経験を交流したほか、原発やTPP、えん罪事件などについて意見交換し、問題点を浮き彫りにしました。

主催者あいさつした同フェスティバル実行委員会の田村武夫代表は、「参院選で、改憲反対勢力の勝利を」と強調しました。

共同の姿を市民にアピール

【静岡県／総かがり実行委員会】 静岡県の憲法共同センター、戦争をさせない1000人委員会、弁護士9条の会で作る静岡総かがり行動実行委員会は3日、静岡市葵区常盤公園で戦争法廃止を求める集会を行い、900人が参加し、戦争法廃止・安倍政権退陣・参院選勝利実現のアピールを採択したのち、繁華街をデモ行進しました。

小長谷保氏（県弁護士9条の会）が「どうみても憲法違反の安保法制は廃止、考え方の違いがあっても安倍政権下での憲法改定は絶対に許さないことを共通認識にしよう」と訴えました。

若者代表の法月友佑さん（静岡大学4年生）は「最近まで政治に無関心でしたが、シールズを見て変わりました。自分は1人ではない。動かなければ自分の声は届かないと確信した」と語りました。政党からは民進党、共産党、社民党があいさつ。

沿道で1歳の息子を抱え見つめていた母親（37）は「子どもの将来が不安。安倍政

権にだまされてはいけない。野党が力をあわせ頑張ってもらいたい」と話していました。

緊急事態条項の危険性を解明

【滋賀県／滋賀・九条の会】 滋賀・九条の会は5日、大津市で第12回滋賀・憲法のつどいを開き、320人が参加しました。

共同代表の今関信子氏（児童文学作家）があいさつ。憲法学者の森英樹氏が「『戦争する国』日本へと爆走する安倍政権—どう立ち向かうか」と題して講演しました。

森氏は、自民党の改憲草案にある「緊急事態条項」などについて説明。2007年の第1次安倍内閣の退陣について「全国津々浦々に九条の会ができ、世論を変えて政権を追い込んだ」と指摘したうえで、戦争法廃止を求める市民運動が加わり、参院選での野党共闘の前進など安倍内閣に立ち向かう力が大きくなっている、とたたかひの展望を語りました。

【奈良県／9条の会等】 「9条の会」奈良と九条の会奈良県ネットワークは5日、憲法研究者で上智大学の高見勝利教授を招き「安保関連法制・緊急事態法制と立憲主義の危機」と題して憲法講座を奈良市内でおこない150人が参加しました。

市民連合・奈良の浅野詠子共同代表は、「野党の統一候補を早く報告したい」と連帯のあいさつをしました。

講座のなかで、高見氏は安倍首相が強行した憲法の実質「改正」の手法や、震災を口実とした「緊急事態条項」の追加から安倍政権がめざす、9条の改正と国防軍創設の危険性について説明しました。

また、高見氏と市民連合・奈良の溝川悠

介共同代表、池本昌弘事務局長が会場からの質問に答えるという形で、鼎談（ていだん）しました。

初めての統一集會に1万余人の参加

【兵庫県／9条の心ネットワーク等】 「戦争させない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会」（実行委員会主催）が神戸市三宮の東遊園地で開催され、主会場の広場をあふれる1万1千人が集いました。憲法改悪ストップ県共同センター、自治労や兵教組などを軸にした1000人委員会兵庫、9条の心ネットワークの3団体が共同し、これまで別々に開いていた憲法集会を統一しました。

主催者あいさつした羽柴修弁護士は「共同が実現し、賛同団体は400を超えた。憲法を守り、戦争法を廃止するたたかひを続けよう。参院選で、兵庫選挙区で野党2候補を当選させよう」と訴え、メーンスピーカーの秋葉忠利元広島市長が「安倍政権の集団的自衛権行使のゴリ押しを認めず、憲法を守ろう」とよびかけました。

民進党、共産党の兵庫選挙区候補が登壇。あいさつしました。

シーلز関西の大野至さん、安保関連法に反対するママと有志の会@兵庫の弘川欣絵さんもスピーチしました。

数百の「はと風船」にメッセージ

【鳥取県／とっとり東部九上の会】 鳥取県東部の九条の会で作る「とっとり9条の会はと風船実行委員会は、「平和の鳥フェスティバル」を開き、子どもづれの家族ら約130人が参加し「平和のメッセージカード」を付けた数百個の「はと風船」を大空

に飛ばしました。

長本善夫実行委員長が「憲法を守るために平和のハトを飛ばそう」とあいさつ。

ステージに立った小川瑞穂さん(18)は、18歳選挙権をテーマに「空から爆弾が降ってくる不安も、家族を戦争で失う心配もなく、今ここに立てるのは日本が平和だからです。私は、みんなが楽しく過ごせる日常のために憲法に基づく平和な政治を選びます」と語りました。

【広島県／9条の会ネットワーク等】広島市で毎年5月3日に別々に開催されてきた2つの憲法集会が、今年是一个の集会として中区のハノーバー庭園で開かれました。

約2000人(主催者発表)が参加し、作家の落合恵子氏が講演。「戦争は反対という私たちが、よく分からないという人たちに、どれだけノックするかがカギになる」と呼びかけました。

県9条の会ネットワークの石口俊一事務局長と県平和連動センターの佐古正明議長が、戦争法廃止と安倍政権打倒へ力を合わせようとあいさつしました。

【山口県岩国市／9条の会岩国】9条の会岩国主催の憲法記念日講演会が開かれ、「安保関連法に反対するママの会」発起人の西郷南海子さんが講演しました。

西郷さんは「安倍政権では言葉のうそがあふれている。一人ひとりがごまかしの薄皮をはいで質実を知る努力を続け、自分の言葉でそれぞれの居場所、職場から声を上げ、つながっていけば必ず流れは変えられるし、安保関連法は廃止できる」と呼びかけました。

参院選挙区野党統一候補のこうけつ厚氏

があいさつしました。

子ども連れの若い母親の姿も目立ち、「西郷さんの勇気と行動力に励まされた。私も身近な人から話しかけていきたい」と語りました

新有権者が「選挙に役立てられる話」

【徳島県／九条の会徳島】九条の会徳島は3日、徳島市で憲法記念講演会を開き、会場いっぱいの約300人が参加し、「改憲を許さない」の熱気であふれました。

代表世話人で参院徳島・高知選挙区野党統一候補の大西聡氏があいさつで「(戦争への)流れを変えるために、参院選で主催者としての判断を示そう」と呼びかけると、大きな拍手が起こりました。

大阪経済法科大学の沢野義一教授が講演し、自民党改憲案の緊急事態条項について「立憲主義を守らない安倍政権では、運用次第で乱用の恐れがあり、導入を認めてはいけない」と語りました。

【福岡県／九条の会連絡会】九条の会福岡県連絡会は、福岡市で憲法記念日のつどいを開き、参加者約800人が俳優の宝田明氏の講演に聞き入りました。

終戦時、中国・ハルピンから引き揚げた宝田氏は、出征した兄を捜そうと連行される日本兵に近づきソ連兵に銃撃されたことや暴行される女性を見た経験にふれ、「戦争は憎悪しか生まない」と語り、参院選で戦争を起こす政党には投票しないと表明。

話を聞いた新有権者の加納さん(19)は「話映像にはない現実味を感じた。選挙権を使ううえで今日の話に役に立てたい」と話しました。